



9WX01T

使用に際してはこの添付文書をよくお読みください。
また、必要ときに読めるように保管しておいてください。

9WX01T

2014年1月作成（第1版）

体外診断用医薬品の補助試薬

製造販売届出番号：13A2X10001000010

エストラジオールキット

ルミパルス® E₂-III標準E₂溶液、E₂キャリブレータ

■全般的な注意

1. 本試薬は、体外診断用であるため、それ以外の目的には使用しないでください。
2. 本試薬は、ルミパルス E₂-III専用の標準溶液、キャリブレータで血清又は血漿中のE₂濃度測定の際に用います。
3. 添付文書以外の使用方法については保証を致しません。
4. 本試薬および検体は、感染の可能性があるものとして十分に注意して取扱ってください。
5. 本試薬には、保存剤としてアジ化ナトリウムが含まれています。試薬が誤って目や口に入ったり、皮膚に付着した場合には、水で十分に洗い流す等の応急処置を行い、必要があれば、医師の手当等を受けてください。
6. 本試薬の使用に際しては本書とあわせ、各試薬の添付文書、使用する測定システムの添付文書および取扱説明書をご参照ください。

■形状・構造等（キットの構成）

1. 標準E₂溶液：6濃度×1
 - (1) 標準E₂溶液1（液状、1.5mL×1）
 - (2) 標準E₂溶液2（液状、1.5mL×1）
 - (3) 標準E₂溶液3（液状、1.5mL×1）
 - (4) 標準E₂溶液4（液状、1.5mL×1）
 - (5) 標準E₂溶液5（液状、1.5mL×1）
 - (6) 標準E₂溶液6（液状、1.5mL×1）
 標準E₂溶液をご使用の場合にご用意ください。
標準E₂溶液1～6の濃度は、同封のキャリブレーションカードに記載されています。
2. E₂キャリブレータ：3濃度×1
 - (1) E₂キャリブレータ1（液状、1.5mL×1）
 - (2) E₂キャリブレータ2（液状、1.5mL×1）
 - (3) E₂キャリブレータ3（液状、1.5mL×1）
 E₂キャリブレータをご使用の場合にご用意ください。
E₂キャリブレータ1～3の濃度は、同封のキャリブレーションカードに記載されています。

■用法・用量（操作方法）

1. 本試薬は別売の試薬と組み合わせて使用します。
2. 常温（15～25℃）に戻してから軽く転倒混和して使用します。
3. デッドボリュームを考慮して、サンプルカップに必要な量を滴下します。
 - ・溶液1滴あたりのおよその滴下量は45μLです。滴下量は容器を押す強さや気泡の混入によって変動します。滴下の際に液滴の中に気泡が多量に混入する場合は、残量が僅かですので新しい試薬を使用してください。サンプルカップに泡が残りますとサンプリング不良の原因になる場合があります。
 - ・デッドボリュームはご使用の測定システムによって異なりますので各測定システムの取扱説明書をご覧ください。
一例としてルミパルス G1200でサンプルカップをご使用の場合、デッドボリュームは100μLとなります。

■使用上又は取扱い上の注意

1. 取扱い上（危険防止）の注意
 - (1) 検査にあたっては感染の危険を避けるため使い捨て手袋を着用し、また口によるピペッティングを行わないでください。
 - (2) 試薬が誤って目や口に入った場合は、水で十分に洗い流す等の応急処置を行い、必要があれば、医師の手当等を受けてください。
2. 使用上の注意
 - (1) 使用に際しては本書、使用する測定システムの添付文書および取扱説明書に記載された使用方法に従ってください。
 - (2) 本試薬使用に際しては、分取時の汚染に注意し、分取後は速やかに密栓して保存してください。
 - (3) 使用期限を過ぎた試薬は使用しないでください。本試薬の外箱および容器の表示をご確認のうえ使用してください。
 - (4) 試薬は保存条件を守って使用してください。特に凍結しないように注意してください。
 - (5) 検体および本試薬は蒸発による濃縮を考慮し、サンプルの準備後は速やかに測定を開始してください。

3. 廃棄上の注意

- (1) 本試薬には保存剤としてアジ化ナトリウムが0.1%含まれています。廃棄する際は爆発性の金属アジドが生成されないように多量の水とともに流してください。
- (2) 試薬および容器等を廃棄する場合は、廃棄物に関する規定に従って、医療廃棄物または産業廃棄物等区別して処理してください。
- (3) 廃液の廃棄にあたっては、水質汚濁防止法などの規制に従って処理してください。
- (4) 使用した器具（ピペット、試験管等）、廃液、サンプリングチップ等は、次亜塩素酸ナトリウム（有効塩素濃度1000ppm、1時間以上浸漬）、グルタルアルデヒド（2%、1時間以上浸漬）等による消毒処理あるいは、オートクレーブ（121℃、20分以上）による滅菌処理を行ってください。
- (5) 検体、廃液等が飛散した場合には次亜塩素酸ナトリウム（有効塩素濃度1000ppm、1時間以上浸漬）、グルタルアルデヒド（2%、1時間以上浸漬）等によるふき取りと消毒を行ってください。
- (6) 消毒処理に使用する次亜塩素酸ナトリウム溶液、グルタルアルデヒド溶液が、皮膚についたり、目に入らないように注意してください。

■貯蔵方法・有効期間

標準E ₂ 溶液	2～10℃に保存	有効期間：18ヵ月
E ₂ キャリブレータ	2～10℃に保存	有効期間：18ヵ月

使用期限については、本試薬の外箱および容器の表示をご参照ください。

■包装単位

コードNo.	品名	包装
296004	ルミパルス E ₂ -III 標準E ₂ 溶液	6濃度×1
296028	ルミパルス E ₂ -III E ₂ キャリブレータ	3濃度×1

■問い合わせ先

富士レビオ株式会社 お客様コールセンター
TEL：0120-292-832
FAX：03-6279-0204



製造販売元

富士レビオ株式会社

東京都中央区日本橋浜町2-62-5